

平成26年度 地方独立行政法人山梨県立病院機構 業務実績評価（概要）

機構が評価委員会に提出した業務実績報告書に基づき、平成27年9月1日に評価委員会から知事に業務実績評価書が提出された。その概要は次のとおりである。

< 全体評価 >

- ・総評として、平成26年度の中期計画の実施状況は優れている。

< 項目別評価（41項目） >

評 価		評価項目数		
		H26	H25	増減
特に優れている	S	8	4	4
優れている	A	18	14	4
順調である	B	15	23	△8
劣っている	C	0	0	0
著しく劣っており、大幅な改善が必要	D	0	0	0

○ 実施状況が特に優れていると評価された項目（評価S）及び評価理由

①救命救急医療

各診療科の専門医と連携した治療、ドクターヘリ、ドクターカーによる早期で高度な救命救急医療の提供、「高速道路におけるドクターヘリ運用マニュアル」の策定など、より迅速で円滑な救命救急医療の実施に取り組んだ。

②がん医療

通院加療がんセンターの機能が発揮されるとともに、ゲノム解析センターでの先端的な取り組みが行われている。また、がん医療を推進するための組織強化による体制の充実や患者及び家族への支援、県民への啓発活動に継続して取り組んでいる。

③精神科救急・急性期医療

県の施策である精神科救急医療体制の整備に迅速に対応した患者の受け入れ体制を構築した。また、多職種医療チームによる総合的で一貫した医療を提供し、増加する医療ニーズに的確に対応した。

④医師の育成・確保

医師の業務負担軽減を図るための医師事務補助者を配置するとともに、レジナビフェアへの出展など研修医の確保に積極的に取り組んだ。

⑤診断群分類包括評価（DPC）の導入

クリニカルパスの新設、見直しを行い適用件数が増加している。DPC医療機関群のⅡ群に登録されたことは、高い医療を提供した結果である。

⑥医療に関する調査及び研究

積極的に治験、調査及び臨床研究に取り組み、C型肝炎治療薬開発のグローバル治験において優れた治療効果が得られた。

⑦予算、収支計画及び資金計画

年度計画を上回る経常利益を計上した。

⑧移行前の退職給付引当金に関する事項

地方独立行政法人移行時に課題であった退職給付引当金18億円の引当不足を平成23年度までに解消した。

第1期中期目標期間 地方独立行政法人山梨県立病院機構 業務実績評価（概要）

機構が評価委員会に提出した業務実績報告書に基づき、平成27年9月1日に評価委員会から知事に業務実績評価書が提出された。その概要は次のとおりである。

< 全体評価 >

- ・総評として、第1期中期目標期間における業務の実績は優れている。

< 項目別評価（18項目） >

評 価		評価項目数
		第1期中期目標期間
特に優れている	S	4
優れている	A	7
順調である	B	7
劣っている	C	0
著しく劣っており、大幅な改善が必要	D	0

○ 実施状況が特に優れていると評価された項目（評価S）及び評価理由

①政策医療の提供

救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療、精神科救急・急性期医療、児童思春期精神科医療など、他の医療機関では対応が困難であるが、県民の生活に欠かすことのできない政策医療を提供し、本県の基幹病院としての役割を担った。

②質の高い医療の提供

医師事務作業補助者、夜間専従看護職員を配置し、医師及び看護師の負担軽減に努めた。また、通院加療がんセンターの整備、精神科救急・急性期医療などの充実に取り組み、質の高い医療を提供した。

③医療に関する調査及び研究

治験、臨床研究など、県立病院機構の有する医療資源を積極的に活用し、医療の質の向上、県内の医療水準の向上に取り組んだ。特にC型肝炎治療薬開発のためのグローバル治験を実施し、完全治癒を達成した。

④予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額

業務運営の改善及び効率化を進め、中期計画を大幅に上回る経常利益を計上した。

